

■基本構想

めざすべき市の姿

将来都市像 健康で明るい緑の文化都市



基本理念

豊かな心と協働による 成熟した市民社会をめざす



わたしたちのまち岩倉の魅力、それは、……市民の心のよりどころである、五条川と桜並木、山車、のんびり洗い等、古くから伝わる風景、数多く残る神社仏閣や岩倉城遺跡のたたずまい、身近な動植物とふれあうことのできる自然生楽園、四季のうつろいを感じさせてくれる、生きている田畑、住まい手の心映えが伝わる、家のまわりの花飾り……などなど、五条川の桜を別とすれば、どれも特別大きなものではありません。しかし、そこに住む人だけでなく、訪れる人の心もほっとさせてくれる、小さいながらも、キラリと光る岩倉ならではの魅力です。わずか10平方キロメートル余りのまち岩倉。そんな、小さなまちだけと魅力資源がまちいっぱいにちりばめられています。そして、こうしたまちの良さを再発見し、深く理解し、磨きをかけ、市民の共有財産として次世代に受け継いでいこうとする、岩倉市民一人ひとりの気持ちや思い、活動こそが、わたしたちのまちの最も大切な財産と言えます。また、人と自然を大切に作るやさしさと思いやりの心、もてなしやゆとり心、人と人のつながりを大切に、まちの暮らしを楽しむ心で、共に考え、行動していく自立の“市民マインド(=豊かな心)”が今の岩倉を最も特徴づけており、今後の岩倉をより個性的、魅力的にしていく上でかけがえのないものです。一人でも多くの市民が、こうした豊かな心を持ち、まちの主役としてそれぞれが活躍しながら、背伸びすることなく、あたりまえに営まれていく暮らしを大切にしていこう。そのために、市民と行政がそれぞれの役割を果たしながら、協働によってまちを育てていくこと。それを、基本理念とします。

